

## 1. 今回取り上げるテーマ

参加者が抱えている諸問題について、持ち寄って相談する会です。  
また同時に、問題解決の手法についても学びます。

## 2. 簡単ホワイトボードミーティング

※ホワイトボードミーティングについては、ちょんせいこ氏の「元気になる会議ホワイトボードミーティングのすすめ方」のコンテンツを一部引用させていただきます。

### ◇ホワイトボードによるミーティングメリット

#### ①持ち運びができ、簡単に書ける・消せる。

B5、A4、四つ切大、模造紙大など、ホワイトボードシート（ボール紙、食器用ラップのようなシート状）など、さまざまなものがある。片付けも便利

#### ②議論が可視化される

記憶に頼らず、記録に頼る。意見の受けとめられ感がある。  
没の意見も消されないために、自己の意見が否定されない。  
すべてを拾うので、流れが見える。全体が見える。

#### ③意見の訂正が簡単

議事録と違い、意見の訂正（言い過ぎや法令的に微妙な情報）が簡単。

#### ④全員も目線がボードに集中し、発表者のタグがはずれる

日本人は、意見の内容より誰の発言かに敏感。それがボードに書かれることで共有化。  
タグがはずされる。場に出てきた意見の共有という立ち位置になれる。

#### ⑤議論に集中できる

ファシリテーターが聞き取りながら書いてくれるので、メモは不要。  
意見を出すことに集中できる。  
寝ている人、携帯する人などがいなくなる。

#### ⑥先生はもとより、生徒だれでもが練習すればファシリテーターになれる

これから必要能力のひとつとして、ファシリテーション能力がある。  
多様な意見を引き出したり合意形成させていくリーダーシップ。  
ホワイトボードミーティングではこういう要素を簡単に練習できる。

#### ⑦保存が簡単

議事は、写メすれば終了。印刷してファイリングしておけば次年度にも役立つ。  
さらに、写メしたものを活字のスコアに書きなおすこともできる。

### ◇教育現場での応用例

指導や支援が必要な生徒を複数教員や管理職・カウンセラーなどと情報共有したり対策をたてる  
教科の指導方法、カリキュラム作成、分掌や学年内での簡易ミーティング

### ◇授業や行事、生徒の活動に関係した展開例

問題やクイズを出し、答えを班で考えさせる / 実験の手順を考えさせる  
行事や部活動における各種の決定会議

### ◇会議のルール（福島流）

- ①人権尊重（言いたいことは言ってい、言いたくないことは沈黙 OK、みんな違うことを尊重）
- ②正解主義から離れる（反論したくなったら質問で）
- ③守秘義務
- ④思い切ったの違和感表明とレジリアンス
- ⑤失敗から学ぼう

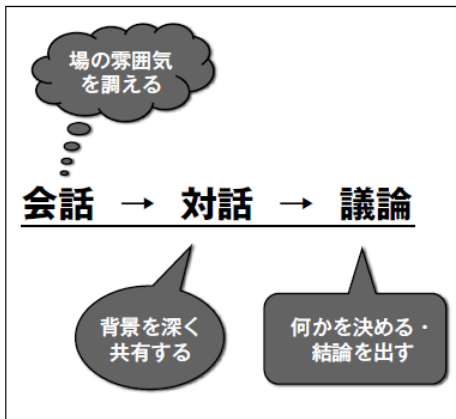
### 3. 智慧の車座

※智慧の車座については、加藤雅則氏「自分を立てなおす対話」のコンテンツを一部引用させていただいています。 図表や文の引用 [http://www.e-sanro.net/jinjbu\\_ad/pdf/E1112.pdf](http://www.e-sanro.net/jinjbu_ad/pdf/E1112.pdf)

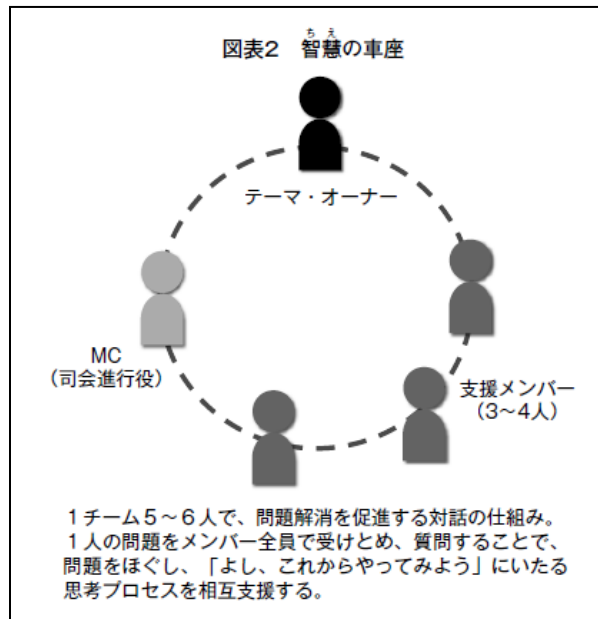
#### ◇理念

問題の原因を追究して解決するのではなく、問題の物語を共有して問題をほぐす。そして問題を解決するのではなく問題解消する。自分ごととして、自分としてはどう思い、感じているか、私を主語として問題を捉えなおす。組織の立場や役割を離れて語ることで問題はほぐされる。被害者の自分→主人公としての自分へ。問題にやられている自分→物語の再編集→自分から変えられることから始める自分。

図表1 対話とは何か



図表2 智慧の車座



図表3 智慧の車座「7つのステップ」

問題を物語る	<b>1. セットアップ (2分)</b> MCは、コミュニケーションのルール、時間配分を再確認する。
異なる視点の提供	<b>2. 問題提示 (3分)</b> テーマ・オーナーが、抱えている問題を発表する。
リフレクション	<b>3. 質問タイム (15分)</b> 支援メンバーが、順番に問題を明確にするための質問をする。質問は一度に1つに限定する。2~3ラウンドが目処。
自己選択①	<b>4. 直感を伝える (3分)</b> 支援メンバーは、問題の本質を直感で伝えてみる。
自己の相対化	<b>5. テーマの再確認 (2分)</b> テーマ・オーナーが、自分のテーマを再確認する。
自己の選択②	<b>6. 解決案のブレインストーミング (7分)</b> テーマ・オーナーは輪の外に抜ける。支援メンバーは、無責任かつ自由に、解決案を議論する。
	<b>7. 解決策の選択&amp;振り返り (3分)</b> テーマ・オーナーは輪の中に戻り、自ら納得のいく解決案を選択し(もしくは創り出し)、次回までの行動を約束する。
〈合計時間の目安：約35分程度〉	

#### ◇やり方

図表3のとおり。 注意点 ①第1ステップ～第5ステップまでは、聴き手は解決策に走らない ②第3ステップの質問タイムでは本人の気持ちを中心に質問 ③第4ステップではIメッセージ(私は〇〇と聴こえた) ④第6ステップでは、聴き手は無責任になってできるだけ解決策を出しあう。